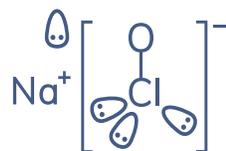


人と暮らしに寄りそう強さを



PANACEA



Stabilized Unadulterated Sodium Hypochlorite Agent
Anti-bacterium Deodorant spray

- 除菌 ウィルス抑制 消臭 防カビ 安全性

「香り」で「ニオイ」をごまかさない。

パナセアは、化学レベルの効果と安心を叶えた人と暮らしに優しい万能消臭・除菌剤です。

— 除菌率 —
99.9%



ノンアルコール・無香料
Alcohol-Free / Unscented

Made in Japan

しっかり除菌、ちゃんと消臭。 パナセアの優しさは、確かな力。

その秘密は、「安定型次亜塩素酸ナトリウム」。

やっかいなウィルスや気になるニオイを、しっかり除菌し、きれいに消臭したい。

しかも、安心・安全を犠牲にしたくない。

そんな、生活に求められるすべての願いに、パナセアが応えます。

パナセアの成分は独自の特殊技術により、

超純水と次亜塩素酸ナトリウムだけを材料として製造した

「安定型次亜塩素酸ナトリウム」。

多くの細菌・ウィルスに対して、99.9%以上の除菌効果を発揮し、

さらに悪臭物質を元から分解消臭します。

しかも、除菌した後は水と微量の塩化ナトリウムになり、全くの無害に。

赤ちゃんからお年寄り、家や病院・施設でも。

除菌・消臭剤パナセアは、独自技術の優しさで、菌・ウィルスから

大切な人たちを守ります。

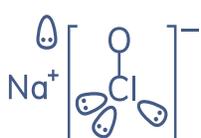






Stabilized Unadulterated Sodium Hypochlorite Agent
Anti-bacterium Deodorant spray

「安定型次亜塩素酸ナトリウム」とは



独自の特殊技術によって生まれた
画期的な除菌・消臭成分です。



パナセアは次亜塩素酸ナトリウムを革新的技術により、アルカリ水溶液中に安定・融合化させた従来にない画期的な除菌・消臭剤です。

安定型次亜塩素酸ナトリウムは、一般的な除菌消臭剤のようにニオイでごまかすことをせず、菌やウィルスを不活性化させることで、消臭効果を得ることができます。様々な分野の菌・ウィルスに対して、瞬間的に不活性化させ除菌効果を発揮し、空気中に浮遊するウィルス・細菌類を平均約 30 秒で除菌することができるので、家の中での用途はもちろん、ペットや介護環境のニオイ対策にも威力を発揮します。

また、反応後は水とごく微量の塩化ナトリウムに分解するため、有害な物質が一切発生せず、子供からお年寄りまで誰でも安心して使えます。塩素特有の臭いや刺激もないので、敏感肌の人にも安心。安全と確かな効果を兼ね備えた、万能除菌・消臭剤なのです。

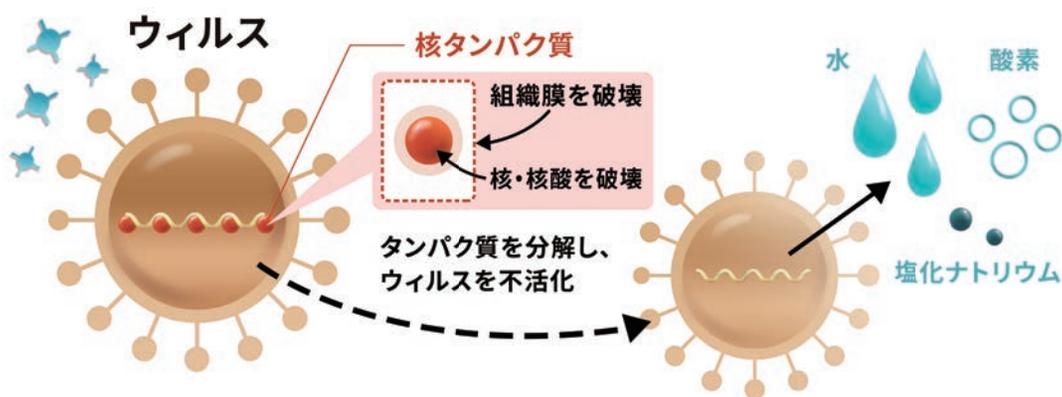




パナセアの除菌力・消臭力

パナセアの除菌プロセス

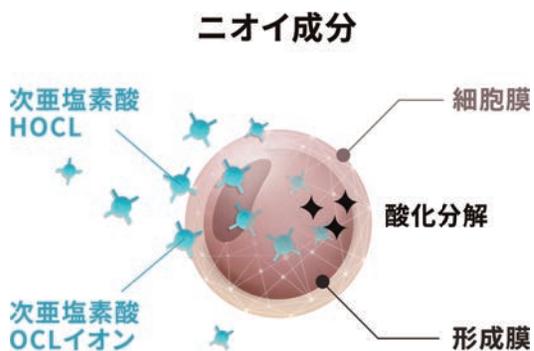
タンパク質を分解してウィルスを不活化し、分解後は水と酸素とごく微量の塩化ナトリウムに変化します。



パナセアは空中浮遊しているウィルス・細菌類およびカビの孢子菌も除去します。

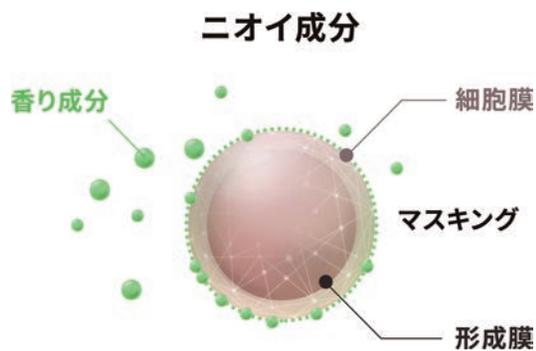
パナセアの消臭プロセス

タンパク質等のニオイ成分を酸化分解、根こそぎ消臭します。



市販の消臭剤の消臭プロセス

空中に噴射することにより、ニオイ成分をマスキング(包む)し消臭します。※強力なニオイを完全に除去することはできません。



パナセアの安全性

パナセアは特殊技術であらゆる場面での安全性が確保されています。

◆ 第三者検査機関における安全性試験で無刺激物と判定
(眼刺激性・経口毒性・皮膚一次刺激性試験)

アルカリ性なので、万が一、直接口についてしまっても人体に危険はありません。刺激性もないので安心。子供から妊婦、お年寄りまで気軽に使えます。

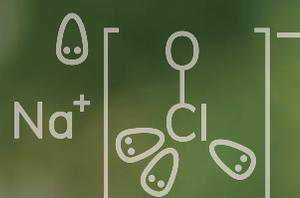
◆ 弱アルカリ性のノンアルコール除菌水

アルコール製品のような可燃性や、有害な塩素ガスの発生の心配もないので、どこでも安心してお使いいただけます。

◆ 食品添加物を原材料とし安全

厚生労働省が定めた食品添加物の基準に沿って製造しており、空間噴霧や長期性能安定保存を実現しています。





あらゆる場所の除菌・消臭に使用できます。

パナセアは、自宅から病院・学校・オフィスまで幅広く活用。
ウィルスの集団感染も積極的に防ぐことができます！

ウィルスや細菌類を 99.9% 除菌

臭いの元を瞬時に無臭化

カビの孢子菌を分解

- ☑ リビングや寝室の除菌・消臭に
- ☑ ペットトイレや赤ちゃんのおムツ周りに
- ☑ 嘔吐物・吐しゃ物への緊急対応にも効果を発揮
- ☑ 病院や保育園等でのウィルス対策に



花粉対策・アレルギー対策に



空中に噴霧することにより、
花粉（スギ花粉）を

88.2% 軽減!



空中に噴霧することにより、
ダニアレルゲンを

84.9% 軽減!

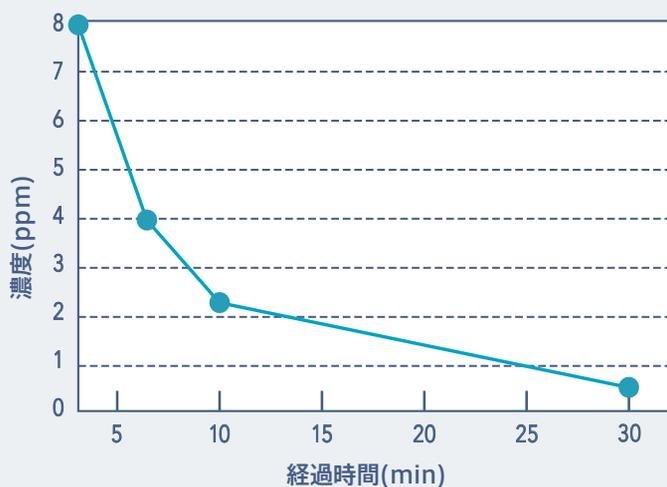


厚労省指定 8 大悪臭を消臭



メチルメルカプタン 8ppm 空気量 9L に対する悪臭物質除去実験

時間と共に悪臭のもとを分解・消臭



ゴミ箱・排水溝・三角コーナー・クーラー・掃除機・寝具・カーテン・冷蔵・冷凍庫内のニオイの除去にも安心してお使い頂けます。

安全性について (皮膚一次刺激性実験 / 急性経口毒試験 / 眼刺激性試験) <一般財団法人日本食品分析センター>

皮膚一次刺激性実験

人間よりデリケートなウサギを用いた実験で「無刺激性」の範疇にあると認められた。

表 -4 皮膚反応の採点結果

観察時間 (時間)	試験動物①		試験動物②		試験動物③	
	無傷	有傷	無傷	有傷	無傷	有傷
1	2/0	2/0	1/0	1/0	1/0	1/0
24	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
48	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0
72	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0	0/0

結果は紅斑・痂皮 / 浮腫の順に示した

急性経口毒試験

人間よりデリケートな雄マウスを用いた実験で異常および死亡例は認められなかった。

表 -1 体重変化

投与群	投与前	投与後(日)	
		7	14
試験群	26.7 ± 1.1 (5)	29.4 ± 1.9 (5)	32.1 ± 1.2 (5)
対照群	26.4 ± 0.6 (5)	28.8 ± 0.7 (5)	32.5 ± 1.7 (5)

体重は平均値±標準偏差で示した(単位:g)

括弧内に動物数を示した。

眼刺激性試験

人間よりデリケートなウサギを用いた実験で「無刺激性」の範疇にあると認められた。

表 -8 試験動物③の採点結果

観察部位		採点結果			
		1時間	24時間	48時間	72時間
(1) 角膜	混濁の程度 (A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	混濁部面積 (B)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
(2) 虹彩	(A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
(3) 結膜	発赤 (A)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	浮腫 (B)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	分泌物 (C)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(1) =	A × B × 5	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(2) =	A × 5	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
評点(3) =	(A+B+C) × 2	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計評点	((1)+(2)+(3))	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

括弧内に対照眼の結果を示した。

- : 判定せず

「パナセア」は眼刺激性試験、皮膚一次刺激性実験、急性経口毒性試験において「無刺激性」の範疇にあると認められております。

食品適合性試験について

<一般財団法人日本食品分析センター>

分析試験結果

分析試験項目	結果	定量下限	注	方法
次亜塩素酸ナトリウム	—	—	1	—
性状	適	—	1	—
確認試験(1)	—	—	1	—
ナトリウム塩(1)	適	—	1	—
次亜塩素酸(1)	適	—	1	—
次亜塩素酸(2)	適	—	1	—
次亜塩素酸(3)	適	—	1	—
確認試験(2)	適	—	1	—
確認試験(3)	適	—	1	—
含量	適(有効塩素 4.3%)	—	1	—
性状(適否の判定基準外)	—	—	1	—
形状	液体	—	1	—

注1 食品添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の第2添加物。

「パナセア」は、食品添加物を原料としています。

そして、その原料である次亜塩素酸ナトリウムは、食品衛生法に基づいて定められた「食品・添加物等の規格基準」に適合しています。

パナセアとその他競合製品との機能性比較

	除菌時間	除菌能力	消臭効果	非金属腐食性	非漂白性	非可燃性	有毒ガス抑制	刺激臭抑制	無揮発性	品質安定性	環境安全性	空中噴霧	耐性菌の抑制
新パナセア	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
アルコール製品	○	○	×	◎	◎	×	×	×	×	○	×	×	×
二酸化塩素製品	◎	◎	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	○
次亜塩素酸製品	◎	◎	△	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○
弱酸性次亜塩素酸製品	◎	◎	△	×	×	○	△	△	×	△	△	△	○

- ・アルコール製品は70%～80%以外のアルコール度数での殺菌能力は殆どありません。また、アルコール製剤はノロウイルスの除菌は不可です。
- ・二酸化塩素の特徴は強力な殺菌能力を有していますが、強力な酸化力により金属・家電類を腐食させ、強烈な刺激臭と有毒ガスを発生し、繊維製品を漂白します。国連規制で強力な金属腐食作用から民間航空機には積載禁止となっています。また製品比較表には取り上げていませんが、安定化二酸化塩素(水成二酸化塩素)の殺菌力は殆どありません。殺菌力を持たせるには、液剤に酸を添加して10時間以上おいて、二酸化塩素に変換する必要があります。
- ・「パナセア」は従来の次亜塩素酸ナトリウム製剤と違って品質劣化は殆どありません。冷暗所保存で2年間その有効塩素濃度を98%保持できます。また、金属腐食は水と同程度、漂白、刺激臭などについても問題なく安心・安全です。

パナセアの塩素濃度追跡調査

財団法人 化学物質評価研究機構

測定回	測定日	Lot	残留塩素 (mg/L)	残留塩素 平均値 (mg/L)	測定回	測定日	Lot	残留塩素 (mg/L)	残留塩素 平均値 (mg/L)	
1	2009年8月20日	n=1	1/12	42.2	42	8	2010年3月19日	n=1	8/12	40.6
		n=2	1/12	42.2				n=2	8/12	40.7
		n=3	1/12	42.2				n=3	8/12	40.7
2	2009年9月18日	n=1	2/12	41.7	42	9	2010年4月20日	n=1	9/12	40.6
		n=2	2/12	41.7				n=2	9/12	40.6
		n=3	2/12	41.7				n=3	9/12	40.6
3	2009年10月20日	n=1	3/12	41.5	41	10	2010年5月20日	n=1	10/12	40.2
		n=2	3/12	41.5				n=2	10/12	40.3
		n=3	3/12	41.5				n=3	10/12	40.2
4	2009年11月18日	n=1	4/12	41.3	41	11	2010年6月18日	n=1	11/12	39.9
		n=2	4/12	41.3				n=2	11/12	39.9
		n=3	4/12	41.3				n=3	11/12	39.8
5	2009年12月18日	n=1	5/12	41.1	41	12	2010年7月20日	n=1	12/12	39.8
		n=2	5/12	41.2				n=2	12/12	39.8
		n=3	5/12	41.1				n=3	12/12	39.8
6	2010年1月20日	n=1	6/12	41	41	13	2010年8月20日	n=1	1/12	39.7
		n=2	6/12	41				n=2	2/12	39.6
		n=3	6/12	40.9				n=3	3/12	39.7
7	2010年2月19日	n=1	7/12	40.9	41					
		n=2	7/12	40.9						
		n=3	7/12	40.8						

1年経過しても塩素濃度(除菌能力)を99.9%保持し、液性も弱アルカリ性(pH10)のまま変質しません。

除菌効果

抗菌力試験結果 I (VRE / 肺炎桿菌 / レジオネア / リステリア)

<一般財団法人日本食品分析センター>

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
VRE	検体	1.1×10^6	<10	<10	<10	VRE	検体				
	対照	1.1×10^6	-	-	1.1×10^6		対照				
肺炎桿菌	検体	6.3×10^5	<10	<10	<10	肺炎桿菌	検体				
	対照	6.3×10^5	-	-	6.3×10^5		対照				
レジオネア	検体	2.3×10^7	5.0×10^5	1.6×10^3	<100	レジオネア	検体				
	対照	2.3×10^7	-	-			対照				
リステリア	検体	6.5×10^5	<10	<10	<10	リステリア	検体				
	対照	6.5×10^5	-	-	6.1×10^5		対照				

抗菌力試験結果 II (緑膿菌 / サルモネラ / 黄色ブドウ球菌 / MARA)

<一般財団法人日本食品分析センター>

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
緑膿菌	検体	1.1×10^5	<10	<10	<10	緑膿菌	検体				
	対照	1.1×10^5	-	-	1.1×10^5		対照				
サルモネラ	検体	6.8×10^5	<10	<10	<10	サルモネラ	検体				
	対照	6.8×10^5	-	-	6.7×10^5		対照				
黄色ブドウ球菌	検体	3.2×10^5	30	<10	<10	黄色ブドウ球菌	検体				
	対照	2.3×10^7	-	-			対照				
MRSA	検体	1.4×10^6	<10	<10	<10	MRSA	検体				
	対照	1.4×10^6	-	-	1.0×10^6		対照				

抗菌力試験結果 III (表皮ブドウ球菌 / レンサ球菌 / 腸炎ビブリオ)

<一般財団法人日本食品分析センター>

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
表皮ブドウ球菌	検体	7.3×10^5	2.3×10^5	10	<10	表皮ブドウ球菌	検体				
	対照	7.3×10^5	-	-	7.7×10^5		対照				
レンサ球菌	検体	6.7×10^5	<10	<10	<10	レンサ球菌	検体				
	対照	6.7×10^5	-	-	5.8×10^5		対照				
腸炎ビブリオ	検体	4.6×10^5	<10	<10	<10	腸炎ビブリオ	検体				
	対照	4.6×10^5	-	-	4.9×10^5		対照				

抗菌力試験結果 IV (O-157 / ノロウイルス)

< 一般財団法人日本食品分析センター >

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
大腸菌 O-157 ベロ毒素産生株	検体	1.3×10^5	<10	<10	<10	大腸菌 O-157 ベロ毒素産生 株	検体				
	対照	1.3×10^5	-	-	1.3×10^5			対照			

試験菌	対象	生菌数 (/ml)				試験菌	対象	開始時	15 秒後	30 秒後	1 分後
		開始時	15 秒	30 秒	1 分						
ノロウイルス (ネコカリシウイルス)	検体	3.2×10^6	<32	<32	<32	ノロウイルス (ネコカリシウイ ルス)	検体	ノロウイルスは、写真撮影出来ない。			
	対照	3.2×10^6	-	-	3.2×10^6						

- ① 人体に影響を及ぼす食中毒菌・耐性菌・ノロウイルス等に対し、噴霧後、15 秒から 1 分以内に、対象物の構成タンパクを不活性化（殺菌）させることが確認できた。
- ② セレウス（芽胞）・枯草菌・カビ・酵母には、あまり効果がなかった。
- ③ 安全性試験（急性および眼・皮膚の刺激性）においては、人体への影響が全くないことが実証された。

抗菌力試験結果 V (パルボウイルス / 豚伝染性胃腸炎ウイルス(コロナウイルス) / インフルエンザウイルス) < 畜産生物科学安全研究所 >

表 1. 安定型複合塩素除菌消臭剤の犬パルボウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	5.5	6.25	5.75
	2	5.5	5.25	5.5
	3	6	6	5.75
	平均値	5.7	5.8	5.7
10 倍希釈 試験液	1	2.75	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	3.5	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	3	≦ 1.75	≦ 1.50
	平均値	3.1	≦ 1.6	≦ 1.5
15 倍希釈 試験液	1	3	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	3.75	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	3.5	≦ 1.50	≦ 1.50
	平均値	3.4	≦ 1.5	≦ 1.5
15 倍希釈 試験液	1	2.3	≧ 4.3	≧ 4.2
	2	2.3	≧ 4.3	≧ 4.2
	3	2.3	≧ 4.3	≧ 4.2
	平均値	2.3	≧ 4.3	≧ 4.2

ウイルス含有量は、試料 1mL あたりの値を対数変換して記載した。

表 2. 安定型複合塩素除菌消臭剤の豚伝染性胃腸炎ウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	5.5	5	5.25
	2	5.5	5.5	5.5
	3	5.25	5.25	5.75
	平均値	5.4	5.3	5.5
10 倍希釈試験液	1	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	2	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	3	≦ 1.50	≦ 1.50	≦ 1.50
	平均値	≦ 1.5	≦ 1.5	≦ 1.5
15 倍希釈試験液	1	≧ 3.9	≧ 3.8	≧ 4.0
	2	≧ 3.9	≧ 3.8	≧ 4.0
	3	≧ 3.9	≧ 3.8	≧ 4.0
	平均値	≧ 3.9	≧ 3.8	≧ 4.0

ウイルス含有量は、試料 1mL あたりの値を対数変換して記載した。

表 3. 安定型複合塩素除菌消臭剤のインフルエンザウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	3.5×10^4	1.4×10^5	1.0×10^5
	2	6.0×10^4	9.0×10^4	6.0×10^4
	3	8.0×10^4	8.5×10^4	1.1×10^5
	平均値	5.83×10^4	1.05×10^5	9.00×10^4
10 倍希釈試験 液	1	< 102	< 102	< 102
	2	< 102	< 102	< 102
	3	< 102	< 102	< 102
	平均値	< 102	< 102	< 102
15 倍希釈試験 液	1	< 2.00	< 2.00	< 2.00
	2	< 2.00	< 2.00	< 2.00
	3	< 2.00	< 2.00	< 2.00
	平均値	< 2.00	< 2.00	< 2.00

ウイルス含有量は、試料 1mL あたりの値を対数変換して記載した。

「パナセア」は、「医療機関」「食品工場」「畜舎」などで問題になる、様々なウイルス・細菌類のエビデンスを保有しています。
上記エビデンスの通り、平均除菌時間は 15 ~ 60 秒です。

花粉対策データ

試験結果速報

結果	精製水および安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後のスギ花粉アレルゲン Cry j 1 濃度はそれぞれ 105.64ng/ml、12.49ng/ml であった。
まとめ	安定型次亜塩素酸ナトリウムと反応後のスギ花粉アレルゲン Cry j 1 濃度は、純水と反応後のそれと比較し、低減率が 88.2% であった。

【Cry j 1】

設定濃度：100 ng/ml 実測値：98.55 ng/ml

サンプル名	No.	アレルゲン濃度 (ng/mL)	対照に対する低減率 (%)
対照：精製水	1	102.59	-
	2	111.14	
	3	103.18	
	average	105.64	
	SD	4.78	
安定型次亜塩素酸ナトリウム	1	13.7	88.2
	2	11.85	
	3	11.93	
	average	12.49	
	SD	1.05	

【Cry j 1 一次抗体試験】

サンプル名	希釈倍率	OD 値 (450 - 620nm/m)	対照との差 (OD 値) * 1	対照との差 (OD 値) * 2
対照：精製水	× 2	0.804	-	-
	× 6	0.752		
	× 18	0.685		
安定型次亜塩素酸ナトリウム	× 2	0.471	-0.333	-41.4
	× 6	0.682	-0.069	-9.2
	× 18	0.721	0.036	5.2

* 1 【対象との差 (OD 値)】 = [加工品の OD 値] - [対照の OD 値]

* 2 【対象との差 (%)】 = [対象との差 (OD 値)] / [対照の OD 値] × 100

「パナセア」は花粉症の要因の 1 つである「スギ花粉アレルゲン」を 88.2% 除去します!

ダニアレルゲン対策データ

試験結果速報

【ダニアレルゲン Der F 1】

設定濃度：100 ng/ml 実測値：115.55 ng/ml

サンプル名	No.	アレルゲン濃度 (ng/mL)	対照に対する低減率 (%)
安定型次亜塩素酸ナトリウム	1	17.69	84.9
	2	12.84	
	3	9.03	
	average	13.19	
	SD	4.34	
対照：精製水	1	89.46	-
	2	90.85	
	3	82.15	
	average	87.49	
	SD	4.68	

【抗 Der F 1 一次抗体試験】

サンプル名	希釈倍率	OD 値 (450 - 620nm)	対照との差 (OD 値) * 1	対照との差 (OD 値) * 2
安定型次亜塩素酸ナトリウム	× 2	0.424	-0.071	-14.36
	× 6	0.501	0.009	1.83
	× 18	0.506	-0.06	-10.53
	× 54	0.508	-0.045	-8.05
	対照：精製水	× 2	0.495	
	× 6	0.492		
	× 18	0.565		
	× 54	0.553		

* 1 【未加工品との差 (OD 値)】 = [加工品の OD 値] - [未加工品の OD 値]

* 2 【未加工品との差 (%)】 = [未加工品との差 (OD 値)] / [未加工品の OD 値] × 100

「パナセア」はアトピー性皮膚炎、シックハウス症候群の要因の 1 つである「ダニアレルゲン」を 84.9% 除去します!

Q & A



Q. 「パナセア」と一般的な次亜塩素酸ナトリウムとの違いは？

- A.** 以下の特徴が従来品との大きな違いです。
- 有効塩素濃度を長期間保持します。
 - 長期安定的な除菌・消臭力があります。
 - 金属腐食、漂白性、引火性がなく、安心してご使用できます。
 - 長期保存が可能です。
 - 発癌性物質トリハロメタンを出しません
 - 反応後は微量な塩化ナトリウム（塩）と水になります。

Q. 「パナセア」は、希釈して使用することはできますか？

- A.** 噴霧器で使用の場合 50ppm (1/4)、テーブルやイスの拭き掃除の場合 100ppm (1/2) に薄めて使用してください。

Q. 「パナセア」は、調理器具などへの除菌はできますか？

- A.** できます。
従来の次亜塩素酸製品、アルコール製剤では不可能な調理器具への直接噴霧により、付着しているウイルス・細菌・バクテリアなどを除菌します。

Q. 「パナセア」を加湿器に入れて、空中に浮遊するウイルス・細菌を除菌できますか？

- A.** できます。
空中浮遊のウイルス・細菌類に接触すると 15 ~ 60 秒で除菌します。(除菌率 99.9%) 同時に強力な消臭効果があります。

Q. 「安定型」という名前がついているのはなぜですか？

- A.** 一般的な次亜塩素酸ナトリウムは、混合物との化学反応のスピードが速く、その成分が安定しないため、未開封・未使用品でも性能の低下が進みます。しかし、「安定型」次亜塩素酸ナトリウムであるパナセアは、次亜塩素酸ナトリウムのナトリウム部分だけを特殊技術で取り除くことに成功した非常に安定的な成分です。
ウイルスや菌に触れた瞬間だけ反応するため、「安定型」と名がついております。

Q. わずかな塩素臭がしますが、体に害はないですか？

- A.** 汚れや菌・ウイルス、ニオイの原因物質に反応して塩素臭がしますが、反応後は微量な塩化ナトリウム（塩）と水になります。
人体への安全性については、各種安全性試験を行っており、「無刺激物」の範疇にあると認められております。

Q. 保管の方法は？

- A.** パナセアは、紫外線に弱いので保管方法は暗所で密閉空間を保ちます。

Q. あらゆる菌やウイルスに効果がありますか？

- A.** すべての菌・ウイルス・カビに対して効果があるわけではありません。



スプレータイプ
1000ml



スプレータイプ
500ml



ポータブルタイプ
50ml



詰替用
450ml



詰替用
5L



詰替用
20L

噴霧器一覧



300ml ~ 500ml/1H
(~ 8 畳)



4ml ~ 125ml/1H
(~ 8 畳) 間欠機能付



10ml ~ 400ml/1H
(~ 20 畳) 間欠機能付



40ml ~ 1000ml/1H
(~ 40 畳) 間欠機能付 / タイマー機能付

保管時の注意事項

パナセアは、有効塩素が抜けにくく安定した性能を維持できる製剤です。より品質を安定化させて保存するために光（紫外線）、高温での保存（30℃以上）は避けて下さい。

- ご使用後は密封状態で冷暗所で保管して下さい。
- 開封後もできるだけ冷暗所で保管して下さい。
- 一旦製品容器から出した液体は戻さないでください。

使用上の注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 塩素系製剤や他製品との混合は一切行わないでください。
- 換気の悪い場所での使用は避けてください。
- 目に入った場合はすぐに水で洗い流してください。
- 口に入った場合はすぐに水を飲み希釈してください。

パナセア製品仕様

- 品 名** : 除菌・消臭・防カビ剤 パナセア
- 成 分** : 次亜塩素酸ナトリウム 0.02%(200ppm)/ 水 99.99%
- 内 容 量** : 50ml / 450ml (詰替用) / 500ml / 1ℓ / 5ℓ / 20ℓ
- 用 途** : ・ウィルスおよび細菌類の除菌 (除菌率 99.9) ※ 15 ~ 60 秒で除菌
- 厨房内調理器具、食器等の除菌
 - 環境省指定の 8 大悪臭の消臭 (トイレ臭 / タバコ臭 / 肉・野菜の腐敗臭等)
 - 室内・厨房等の消臭、靴・ブーツの消臭
- 品質有効期限** : 製造日から 1 年以内、もしくは開封後半年以内のいずれか早い日まで。

発売元

株式会社パナセア 沖縄県医師協同組合指定業者

住 所 : 沖縄県那覇市泉崎 1-7-10 崎田ビル 1F

TEL / FAX : 098 (943) 0101 / 098 (943) 0102

MAIL : info@panaceaokinawa.com

URL : https://panaceaokinawa.com

取扱代理店